

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ		平成6年3月23日		椎葉小夜子		〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾1-13-32 (電話) 092-522-3135			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人西鉄学園		昭和37年2月27日		部谷 由二		〒816-0922 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-586-2480			
分野	認定課程名		認定学科名			専門士		高度専門士	
商業実務	商業実務専門課程		国際ホテルマネジメント科			平成30年文部科学省 告示第31号		—	
学科の目的									
ホテルや日本旅館のに関する知識や接客サービス能力を身につけ、業界で活躍できる人材を育成する。									
認定年月日									
平成26年3月31日									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義		演習	実習	実験	実技	
3	昼間	154	126		22	6	0	0	
時間									
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の 内数)					
75		41		41					
学期制度	■前期:4月1日～8月4日 ■後期:9月11日～1月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験もしくは実技試験。 A:80%以上、B:60%以上、C:50%以上、D:50%未満			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏 季:8月5日～9月10日 ■冬 季:12月20日～1月10日 ■学年末:2月1日～3月31日				卒業・進級 条件	進級・卒業判断時に所定の単位以上を取得し、期日までに 学費を納入すること。			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 週1回のホームルーム、個別面談など				課外活動	■課外活動の種類 クラス委員長会・行事委員会等			
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) ホテル業界				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■サークル活動: 有			
	■就職指導内容 担任及び就職担当教員による指導					■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)			
	■卒業有数 24 人					資格・検定名 種 受験者数 合格者数			
	■就職希望有数 21 人					日本語能力試験N1 ③ 21人 5人			
	■就職有数 21 人					日本語能力試験N2 ③ 19人 18人			
	■就職率 : 100 %								
■卒業者に占める就職者の割合 : 88 %							※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)		
■その他 (平成 4 年度卒業生に関する 令和5年5月1日 時点の情報)									
中途退学 の現状	■中途退学者 3 名 令和4年4月1日時点において、在学者64名 (令和3年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者61名 (令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 大学進学 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による個別面談、保護者との連携、スクールカウンセラーによる対応				■中退率 4.7 %				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 IBC特待生制度[授業料の免除]・ホスピタリティ特待生制度・学生寮特待生制度・サポート制度[資格・検定取得者、出席優良者] 等 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無								
当該学科の ホームページ URL	http://ibc.ac.jp								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

校務運営規程に基づき科毎に科会を設け、学科長を置き教育の質の保証・改善のために担当科の教育課程編成委員会へ参加し、教育課程編成委員会での審議を各科で検討を行い学内会議を経て採用される。

・校務運営規程第6章 教育課程編成委員会第11条

・校務運営規程第8章 校務分掌第14条

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年11月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA	2023年4月01日～2025年3月31日	③
山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ	2023年4月01日～2025年3月31日	③
水城 弘幸	西鉄旅行株式会社	2023年4月01日～2025年3月31日	③
松浦 幸平	株式会社JALスカイ九州	2023年4月01日～2025年3月31日	③
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州 総務部 総務グループ係長	2023年4月01日～2025年3月31日	③
森 勝之	JR九州サービスサポート株式会社 常務取締役 駅事業部部長	2023年4月01日～2025年3月31日	③
伊賀上 恵子	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー	2023年4月01日～2025年3月31日	①
三浦 芳徳	公益財団法人 産業雇用安定センター	2023年4月01日～2025年3月31日	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年5月26日 10:00～12:00

第2回 令和5年9月21日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

業界ではJLPTN1レベルの学生を求めている。更なる日本語教育の充実を期待する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校教育に理解があり、後継者育成の一環として実務の経験ができる場を積極的に提供し、学習成果の評価を行う体制をとることが可能な企業を選定している。また、学校が教育している知識や技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業への新規開拓も実施している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

実習の実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、担任が各企業を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。

実習終了時には、実習担当者による学生の学習成果の評価をふまえ、担任が単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
企業実習	授業で学習した理論と実技の一体化を目的とし、社会人としての厳しさ、基本的な業界の知識や技術の習得を目的とする	ヒルトン福岡シーホーク、ANAクラウンホテルズ、グランドハイアット福岡、ルネッサンスリゾート沖縄、ホテル日航ハウステンボス
ソムリエ&バーテンダー	現役ソムリエから実際に役立つレストラン・バー業務を教わる	有限会社セレーノ・コーポレーション
コミュニケーションイングリッシュ	ホテルで使用する英会話を教わる	リトルアメリカ
マーケティング	マーケティングの基礎を学び、分析・プランニング方法を学ぶ。	有限会社セレーノ・コーポレーション
おもてなし検定対策	旅館についての知識マナーを身に付ける	JTB総合研究所

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

・教職員規程 第1章及び第2章

研修計画(教職員研修規程 第2章 第6条による)

(1)学校及び部室主催の研修 年1回以上

(2)関係団体や業者が主催する研修 不定期年1回以上

(3)校長により承認された業界実習や通信教育等の自己啓発研修 適宜

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	業界見学	連携企業等:	ヒルトン福岡シーホーク
期間:	2023年7月4日	対象:	教員
内容	ホテルの現在の取り組みについての紹介と館内の新しい設備についてご紹介いただいた。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	留学生担当教職員研修会	連携企業等:	福岡県専修学校各種学校協会
期間:	2023年10月17日	対象:	教職員
内容	出入国管理行政について		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	日本語授業についての意見交換	連携企業等:	有限会社セレーノ・コーポレーション
期間:	2024年8月9日	対象:	教職員
内容	学科で取り組むべき日本語の資格試験について意見交換を行う		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	留学生担当教職員セミナー	連携企業等:	大阪府専門学校各種学校協会
期間:	2024年8月24日	対象:	教職員
内容	今こそ考える留学生支援		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取り組みを促進していくことを目的とし、学校の教育活動や学校運営の状況に対して外部の学校関係者による評価を行い、その結果を教育活動・学校運営に活用する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2)学校運営	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム、年間授業スケジュール ・資格
(3)教育活動	・教員の担当科目、担当学年
(4)学修成果	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5)学生支援	・学校行事 ・課外活動(部活動等)
(6)教育環境	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7)学生の受入れ募集	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8)財務	・収支状況
(9)法令等の遵守	・自己点検、評価、学校関係者評価の結果
(10)社会貢献・地域貢献	・海外実習 ・外国の学校等との交流 ・外国人留学生

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会を年間2回開催し、当該意見を教育活動その他の学校運営の改善等に活用する。意見・質問:地域との関わりについての活動状況 活用:学校周辺地域への迷惑行為の防止を兼ねて職員が積極的にかかわっている。意見・質問:収支状況が現在の公表方法では改善されているかが不明 活用:前年度と比較が出来るように対処した。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
水城 弘幸	西鉄旅行株式会社	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
松浦 幸平	株式会社JALスカイ九州	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州 総務部 総務グループ係長	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
森 勝之	JR九州サービスサポート株式会社 堂務取締役 駅事業部部長	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
伊賀上 恵子	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー	2023年4月01日～2025年3月31日	団体役職者
三浦 芳徳	公益財団法人 産業雇用安定センター	2023年4月01日～2025年3月31日	団体役職者
平野 孝幸	教育経験者	2023年4月01日～2025年3月31日	教育経験者
松藤 大助	日本郵便株式会社 竹下郵便局 局長	2023年4月01日～2025年3月31日	卒業生

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:www.ibc.ac.jp

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者との連携および協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、且つ積極的に提供するものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2)各学科等の教育	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム、年間授業スケジュール ・資格
(3)教職員	・教員の担当科目、担当学年
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事 ・課外活動(部活動等)
(6)学生の生活支援	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8)学校の財務	・収支状況
(9)学校評価	・自己点検、評価、学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	・海外実習 ・外国の学校等との交流 ・外国人留学生

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL:http://ibc.ac.jp

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ホテル・ブライダル学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ホテル総論	とともに、ホテルの各部署の役割を理解する	1通	60	4	○			○		○		
○			フロントサービス	宿泊部門の基本的な業務を理解し、サービス方法の手順を実務知識として習得する	1通	60	4	○	△		○			○	
○			レストランオペレーション	レストランの業務内容を理解し基本的なサービス技術を身に付ける	1通	60	4	○	△		○		○		
○			日本語能力試験対策Ⅰ～Ⅳ	JLPTC受験に向けて対策を行いN2,N1の合格を目指す。	12通	240	16	○			○			○	
○			現代国語	日本人に広く知られている物語を読んで日本人のメンタリティを学ぶ。	1通	60	4	○			○			○	
○			日本語コミュニケーション	日本語の話す、聞く、読むを通して日本語を使ったコミュニケーション能力の向上を目指す。	1通	60	4	○			○			○	
○			日本地理	日本の都道府県や県庁所在地、主な観光地を学ぶ。	1通	60	4	○			○		○		
○			ホテル英会話	ホテルスタッフとして必要な英語力を身に付ける	1通	60	4	○		△	○			○	
○			コンピュータ	Excel及びWordの基本操作を習得する	123通	90	6	△	○		○		○		
○			ビジネスマナー	社会人として必要な心構えとマナーを習得する。	1通	30	2	○	△		○		○		
○			LHR	学校生活における調和と自己啓発を図る	123通	90	6	○			○		○		
○			ソムリエ & バーテンダー	バー、ラウンジでの業務を理解、酒類の専門知識の習得	2通	60	4	○	△		○			○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			フロントオフィス	予約業務等フロントオフィスの基本的な知識を習得するとともに、ホテル全体の流れを理解する。	2通	60	4	○	△		○		○		
○			SPI対策	就職試験における筆記試験に合格できる力を習得する	2通3前	90	6	○			○			○	
○			おもてなし検定対策	日本旅館の業務内容を理解し、おもてなし検定合格を目指す。	2前	30	2	○			○		○	○	○
○			ホテル業界研究	ホテル業界の主要な企業を知る	2後	30	2	○			○		○		
○			TOEIC対策	TOEIC受験に向けて対策を行い高得点取得を目指す。	2通	60	4	○			○			○	
○			ホテル実務技能認定試験対策	ホテル実務技能認定試験の合格を目指す	2通	60	4	○			○		○		
○			ペン字	演習により、美しい文字を習得する	2通	60	4	△	○		○			○	
○			就職活動講座	就職活動の流れを知り、自己分析を行い、就職できる力をつける また、就職面接試験に対応する力を身につける	2通3前	90	6	○	△		○			○	
○			面接対策	就職試験における面接試験に合格できる力を習得する	2通3前	90	6	○		△	○		○		
○			マーケティング	マーケティングの基礎を学び、分析、プランニング方法を習得する	3前	30	2	○			○			○	○
○			セールス	セールスの基礎的な知識とホスピタリティマインドを理解し、即戦力として活躍できるようになる。	3後	30	2	○			○			○	
○			外食産業	レストラン等外食産業の研究を通じて、商品企画力、提案力を身につける	3通	60	4	○			○			○	
○			マネジメント	マネジメントの基礎的な仕組みを学び、活用できるようになる。	3通	60	4	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			日本文化	日本に古来から残る文化風習について学び接客に生かす。	3後	60	4	○			○			○	
○			日本語読解	JLPTN1レベルの長文読解が出来るようになる。	3前	30	2	○			○			○	
○			接客日本語	職場での接客や社内会話がスムーズに出来るようになる。	3後	30	2	○			○			○	
○			コミュニケーションイングリッシュ	基礎的な英文法を理解し、英語で日常的なコミュニケーションが取れるようになることを目指す	3通	60	4	△	○		○			○	○
○			会計学	会計の知識を学び、就業に生かす。	3後	30	2	○			○			○	
○			マナープロトコール	正しいマナーとプロトコール（国際儀礼）を学ぶ	3前	30	2	○			○			○	
	○		日本語能力試験対策Ⅰ～Ⅱ	JLPT受験に向けて対策を行いN1の合格を目指す。	3前	60	4	○			○			○	
	○		ビジネス能力試験対策	ビジネス能力検定N3合格を目指す。	3通	60	4	○			○			○	
	○		BJT対策	BJT受験対策を行う。	3通	60	4	○			○			○	
○			夏季セミナー	日本語能力の向上を目指す。	1後 2後	60	4	○			○		○		
○			企業実習ⅠⅡ	全国のホテル・旅館にて現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	2前 3前	60	2			○		○	○		○
		○	企業実習ⅢⅣ	全国のホテル・旅館にて現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	2前 3前	60	2			○		○	○		○
○			行事Ⅰ	行事によって調和と自己啓発を図る 新入生オリエンテーション1・2・3/スポーツ大会／業界見学	1前	30	1	△	△	○	△	○	○		○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			行事Ⅱ	行事によって調和と自己啓発を図る 業界見学/研究発表会/ボウリング大会/2 年次オリエンテーション/スポーツ大会	2 前	30	1	△	△	○	△	○	○		○
○			行事Ⅲ	行事によって調和と自己啓発を図る 研究発表会/ボウリング大会/就職強化セミ ナー/学科行事	2 後	30	1	△	△	○	△	○	○		○
○			行事Ⅳ	行事によって調和と自己啓発を図る 3年次オリエンテーション/最終模擬面接/ スポーツ大会/研究発表会/ボウリング大会	3 後	30	1	△	△	○	△	○	○		○
合計						41科目	176単位								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
出席と筆記又は実技による評価	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

国際ホテルマネジメント科 教職員一覧

教職員名	主な担当科目
小西 翼	フロントサービス
長野 美穂	レストランオペレーション
松岡 尚美	ホテルマーケティング
中牟田 登喜枝	ホテルマネジメント
島寄 満美子	外食産業
牟田口 真理子	日本地理
中牟田 哲也	国際比較文化論
乙咩 清美	コンピュータ
池田 香織	ビジネスマナー
橋本 美智子	マナープロトコール
白石 真紀	ペン字
挽田 雅子	TOEIC
Geoffrey Wolfson,	コミュニケーションイングリッシュ
Tim Orris	コミュニケーションイングリッシュ
山本 真美	S P I 対策
榎木田 裕夫	S P I 対策
安部 紀美江	就職活動講座 会計学
田中 友加利	面接対策
前田 恭子	現代国語
入江 千治	日本語ビジネス会話
上中 眞由美	日本語能力試験対策
永吉 美知子	日本語能力試験対策
小川 剛	B J T 対策